松梅校道徳通信

令和8年11月5日
文　責　：本多

１０月は小学部「正直・誠実」中学部「真理の探究・創造」について考えました

今年度５回目の研究授業が 10 月 13 日（火）14 日（水）で行われました。今回のテーマは小学部「正直・誠実」中学部「真理の探究・創造」です。小学２年生、６年生と中学１年生、３年生が取り組みました。ぜひご家庭でもお子さんと「正直・誠実」「真理の探究・創造」について話し合ってみてください。

小学２年生「金のおの」



「金のおの」のお話を通して、正直であることの良さについて学習しました。自分の欲しいものを手に入れたい気持ちと、正直に話すことの大切さを比べながら、うそをつかず、素直な心で行動することについて考えました。

児童の意見

・木こりは正直に言ってよかったと思う。
・自分はうそをつかないようにしたい。
・うそをついたらあやまる。
・(うそをつかれるのは)悲しそうだと思った。
・正直に言うといい。

小学６年生、中学１年生「手品師」



大きなチャンスを目の前にしながらも、男の子との約束を守ろうとする手品師の姿から、誠実に生きることや、約束を守ることの大切さについて学習しました。自分の夢と約束の間で悩む手品師の姿を通して、自分が大切にしたいことや誠実に行動することについて考えました。

児童・生徒の意見(誠実とは？)

・うそをつかずに自分らしく生きること。
・自分に素直になる。
・自分にも相手にもうそをつかないようにする。
・自分の気持ちに逆らわない。
・どちらの気持ち(チャンスを手にしたい、約束を守りたい)も尊重すべきもの。

中学３年生「紀州のエジソン」



島正博さんの生き方を通して、疑問をもち、考え続けることの大切さについて考えました。新しいものを生み出すために研究を続けた島さんの姿から、真理を探究することのよさや、新たな発見・創造につながる考え方について学習しました。

生徒の意見

・人の役に立ちたいという考えだけでなく、自分の「好き」という思いでやっているという考えもあり、とても良いと思った。
・世の中のまだ知らないことに興味をもつことで、新たな視点や考え方が生まれると気づいた。
・その成果が実った瞬間の喜びを知ることができることに価値を感じました。

保護者の方より(中学３年生)

・人間は社会的な生き物であることを再認識しました。
・自由な発想と挑戦する気持ちが大切だと思いました。
・失敗を恐れず挑戦し続ける大切さを感じました。子どもにも失敗しても諦めずに挑戦して成長してほしいと思いました。
・疑問をもつ気持ちや自分の好きなことが結果的に自分のためや社会の役に立てることは、とても良いことだと思った。まずは、身近な人や自分に目を向けて、いろんなことに興味をもって追究してほしい。
・新しいものを生み出す時には、必ず失敗し、改善・工夫する場面が何度となく訪れると思う。自分の手で解決した経験を積むことが折れない心を育んでくれると思う。